

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	平取町活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
平取町	16021	2	H24～H26	H24
活性化計画の区域				
平取町地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
地域産物の販売量の増加	7.94%	13.40%	168.8%	

(コメント)

(記入例) 交流人口の増加の場合

目標値A = (目標値/現状値) × 100-100、実績値B = (実績値/現状値) × 100-100

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
新規就農者技術習得管理施設	新規就農研修生住宅整備事業 新規就農研修生住宅1棟2戸住宅		平取町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
平取町	平成25年度	平成25年度	平成26年3月26日
事業の効果			
平取町の代表農産物であるトマト「ニシパの恋人」は、現在、生産・販売量において順調な伸びを見せているが、農家の高齢化に伴う後継者の確保・担い手対策が今後の切迫した課題となっている。こうした中、町としても対策の一環として従前より新規就農研修生の受け入れを行っているが、新規就農時における初期投資は多額であるため、研修・実習期間中の住宅経費低減等による資金準備が必要である。本事業による居住環境整備の推進は新規就農者の安定した就農への一助となることで定住・就農促進へ繋がっている。			

3 総合評価

(コメント)

4 第三者の意見

(コメント)

平取町の地域経済を牽引している農業、その中でも中心となるのがトマトのハウス栽培であり、現在、生産・販売量において好調に推移しているところではあるが、農業経営者の高齢化、後継者不足を要因とする農家戸数の減少と幾多の問題を抱えている。

このような平取町の農業を覆う現状の問題点の解決に向け、定住環境の充実及び確保による集落の再生、経営基盤の安定と定住人口の増大を通じて農山村活性化を目的とする今計画が資する部分は大きいものと思われる。

アンビシャス（新規就農者支援団体） 代表

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また「事業の効果」には事業の実施により発現した効果（農村漁村の活性化に関連する効果）を幅広く記入すること。

※達成率等算出根拠資料（参考様式4添付資料）を添付すること。